



東北大学病院 外科専門研修プログラム

プログラム統括責任者ご挨拶



東北大学病院
外科専門研修プログラム
統括責任者

海野 倫明

東北大学病院外科系各科が協力し、平成30年4月からの新専門医制度に対応した「東北大学病院外科専門研修プログラム」を実施しています。

本プログラムは、外科専門医を効率よく取得できるよう、総合外科(肝胆膵・移植外科、上部消化管・血管外科、下部消化管外科、乳腺・内分泌外科、小児外科)、心臓血管外科、呼吸器外科が一致団結し、専門医教育をする、というものです。また長陵協議会が多くの外科医を育ててきたという経緯を鑑み、3年間のうち大学に在籍するのは最低6ヶ月としておりますので、地域医療にも十分に配慮したものとなっております。

3年間のうちの約2年は市中病院勤務で専門医に必要な350例の臨床経験をして頂き、残りの期間は東北大学において、不足している部分の臨床経験、および学会発表・論文発表を通して世界に羽ばたく外科医としてのグローバル化を身につけていただきます。基盤としての外科専門医を取得した後は、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科のサブスペシャリティに進んで頂き、世界に冠する東北大学外科の発展に寄与して頂ければ幸いです。多数の方のプログラム参加を期待しています。

東北大学病院外科専門研修プログラム概要

臨床研修修了後3年間の専門研修プログラム

本外科専門研修プログラムは、東北大学病院外科系診療科(総合外科、心臓血管外科、呼吸器外科)への入局を前提としたものです。プログラムは、6~12ヶ月の東北大学病院(基幹施設)での研修と、連携施設(1~2施設)での研修から構成されます。はじめの1~2年間に連携施設で研修を行う「連携施設研修先行コース」と、初年度に東北大学病院で研修する「基幹施設研修先行コース」、また、

宮城県修学資金貸与者のための研修コースが設定されています。「連携施設研修先行コース」では、初期研修病院から引き続き同一施設で研修することも可能です。研修コース・施設は専攻医の希望をもとに、連携施設との協議の上で決められます。本プログラムについてご不明な点などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

将来のサブスペシャリティ領域研修への連動を目指したプログラム

将来目指す専門領域を見据えて連携施設を選択することができます。

東北大学病院での研修は、希望により東北大学病院外科診療

科のいずれかに所属し研修します。所属する科以外をローテート研修することも可能です。

形式的評価にもとづくきめ細やかな指導

各年度の終了時および施設ローテーションの際に研修目標達成度評価を行います。その後の研修内容・指導に反映することで、3年間のプログラム期間内に手術件数の到達目標(手術経験数、

術者としての経験数、各領域の必要最低症例数)に到達できるよう、きめ細やかな指導を行います。

東北大学病院外科専門研修プログラムで研修すると……



図書館など
大学の施設が
利用できます



多くのデータ
ベース等が無料で
利用できます



動物を用いた
ウェットラボトレ
ーニングへ優先的に
参加できます

外科専門医のキャリアパス



研修コース

1 連携施設研修先行コース

研修1～2年次に連携施設での研修を行い、3年次以降、基幹施設である東北大学病院での研修を行うコースです。

総合外科(消化器外科・血管外科、乳腺外科、小児外科)研修コース例

1年次	2年次	3年次
連携施設 A		東北大学 連携 東北大学

研修開始後2年間、連携施設(1～2施設)で研修を行い、3年次の4月より大学病院総合外科で研修するとともに、大学院に入学します。
3年次は総合外科の各診療グループをローテート研修しますが、途中で総合外科の指定する連携施設(仙台市外)で2～6ヶ月間の研修を行います。

※乳腺外科の場合、2年次又は3年次から乳腺外科専門医カリキュラムに登録し、サブスペシニアル研修を開始することが可能です。
※小児外科の場合、連携施設2施設で研修を行う場合、いずれかの施設で小児外科領域に特化した研修を行うことも可能です。

心臓血管外科 研修コース例

1年次	2年次	3年次
連携施設 A		連携施設B 東北大学

研修開始後2年6ヶ月、連携施設(2～3施設、施設A12～24ヶ月、施設B、C6～12ヶ月)で研修を行い、3年次に最低6ヶ月間、大学病院心臓血管外科で研修します。連携施設のいずれかは、仙台市外の施設となります。
また、研修開始後1年～1年6ヶ月、連携施設Aで研修し、2年次から3年次の期間に大学病院心臓血管外科で6～12ヶ月間の研修を行い、3年次の残りの期間に連携施設Bで研修を行うコースもあります。

呼吸器外科 研修コース例

1年次	2年次	3年次
連携施設 A		連携施設B 東北大学

研修開始後2年～2年6ヶ月、連携施設(1～2施設)で研修を行い、3年次の10月より大学病院呼吸器外科で研修します(大学病院での研修は3年次の前半の場合と後半の場合があります)。連携施設は仙台市外の施設となります。3年次の4月又は10月より大学院に入学します。

2 基幹施設研修先行コース

※1年次に大学病院で研修する必要がある専攻医のための特別なコースです。

1年次	2年次	3年次
東北大学	連携施設 A	連携施設 B

1年次に大学病院(6-12ヶ月)で研修を行い、2年次以降連携施設で研修を行います(連携施設AとBのいずれかは仙台市外であることが必要です)。

注：各コースとも研修する連携施設は、専攻医の希望をもとに専攻医、連携施設、および研修管理委員会の三者間で協議して決められます。

3 宮城県修学資金貸与者のための専門研修コース

宮城県修学資金貸与者は連携施設より「義務履行指定施設」を選択し、最大2年間の研修が可能です(義務履行指定の各施設では、プログラム全体としての定員枠が設定されていますが、宮城県修学資金

貸与者のための定員枠は設定されていません。ある施設に希望が集中する場合、希望する義務履行指定施設で研修できない場合があります。)

義務履行指定施設

A施設(大崎市民病院、みやぎ県南中核病院、石巻赤十字病院、気仙沼市立病院、栗原中央病院)
B施設(登米市民病院、塩竈市立病院、公立黒川病院、石巻市立病院)

※B施設で6ヶ月以上の研修が必須となります。

連携施設一覧

北海道	帯広厚生病院 帯広第一病院
青森県	青森県立中央病院 五戸総合病院 十和田市立中央病院 八戸市立市民病院
秋田県	大曲厚生医療センター 平鹿総合病院
岩手県	岩手県立胆沢病院 岩手県立磐井病院 岩手県立大船渡病院 岩手県立中央病院 岩手県立中部病院 奥州市総合水沢病院
山形県	東北中央病院 日本海総合病院 山形県立新庄病院 山形県立中央病院 山形市立病院済生館
福島県	いわき市医療センター 太田西ノ内病院 公立相馬総合病院 白河厚生総合病院 竹田総合病院 附属総合南東北病院 渡辺病院
宮城県	赤石病院 石巻市立病院 石巻赤十字病院 イムス明理会仙台総合病院 永仁会病院 大崎市民病院 栗原市立栗原中央病院 気仙沼市立病院 公立黒川病院 坂総合病院 JR仙台病院 塩竈市立病院 仙台医療センター 仙台オープン病院 仙台厚生病院 仙台市立病院 仙台赤十字病院 総合南東北病院 地域医療機能推進機構(JCHO)仙台病院 地域医療機能推進機構(JCHO)仙台南病院 東北医科薬科大学病院 東北公済病院 東北労災病院 登米市立登米市民病院 宮城利府掖済会病院 みやぎ県南中核病院 宮城県立がんセンター 宮城県立こども病院
茨城県	水府病院 水戸医療センター
栃木県	菅間記念病院
埼玉県	自治医科大学附属さいたま医療センター 深谷赤十字病院
千葉県	国立がん研究センター東病院
東京都	国立がんセンター中央病院 複十字病院
静岡県	静岡県立総合病院

※本プログラムは最低2ヶ月の地域医療(仙台市以外)を経験することを必須条件としています。

指導医からのメッセージ

総合外科



亀井 尚

東北大学病院外科専門研修プログラムは、多くの連携施設と豊富な症例数により、早期に高い臨床力が養え、外科専門医取得条件を大きく凌駕する研修が可能です。大学院進学や修学資金貸与者にも柔軟に対応しているほか、他大学出身の先生でも、初期研修病院がどこでも、希望サブスペシャリティがどこでも、分け隔てなく充実した外科研修が可能です。

外科医の基礎を作る最も大切な時期に、大きく成長されることを期待しています。



石田 孝宣

外科は、技術を磨くことにより、ダイレクトに結果を得ることのできる専門性の高い魅力ある領域です。自分の腕で手術を成功に導く喜びを、ぜひ知って頂きたいと願っています。

東北大学病院外科専門研修プログラムは、関連病院と大学病院が密に連携して柔軟な対応を可能とし、最高水準の細やかな教育を提供するとともに、将来を見据えたキャリア形成につながる優れたシステムです。皆さんとお会いできることを楽しみにしております。



大沼 忍

本プログラムでは、基幹施設である東北大学病院、および東北大学が誇る数多くの連携施設で質の高い外科研修を行うことが可能です。各施設では、幅広い知識と優れた技能を有する指導者のもと、各疾患に対する基礎から最先端の手術手技、周術期管理を学ぶことができます。さらに、将来目指す専門領域を見据えた研修を行うことができ、より良いキャリアパス形成を応援します。本プログラムへの参加を心よりお待ちしております。



和田 基

東北大学病院外科研修プログラムは、外科専門医を経て各サブスペシャリティ専門医の取得に向けて円滑な研修を受けることのできるシステムです。とくに小児外科では新生児から移行期成人に至るまで幅広い年齢層と体表から頭頸部、胸部・縦郭・横隔膜、腹部、後腹膜、骨盤、四肢など全身の臓器・組織の多彩な疾患を対象としているため、最高レベルの外科系診療科が連携する本プログラムでの外科専門研修は理想的と言えます。皆さんとともに学び働ける日を楽しみにしています。

呼吸器外科



岡田 克典

東北大学病院外科専門研修プログラムの特徴は、従来の研修システム(長陵協議会)の良き伝統が引き継がれている、6ヶ月以上の東北大学病院での研修と2ヶ月以上の仙台市以外の施設での研修義務の他は特に制限がなく自由度が高い、そして外科専門医研修後のサブスペ研修(私の分野で言えば呼吸器外科専門医研修)を視野に入れた研修ができることです。サブスペ間のコミュニケーションも極めて良好です。皆さんを心よりお待ちしております。

心臓血管外科



齋木 佳克

東北大学病院外科系分野、および、数多くの外科系訓練施設では、新進気鋭の研修医が主体的に患者に関わり、医療チームの中心的存在として積極的に手術治療に携わるといった土壌が涵養されています。そのような環境で育てられてきた私たちは、この素晴らしい伝統を誇りに思い、次世代を担う外科専門研修医に自信を持って修練の場を提供することができます。一般外科とサブスペシャリティのいずれも垣根なく実践できる体制です。

募集案内

- 募集人数 44人
- 選考方法 書類審査および面接試験

- 応募書類 東北大学病院外科専門研修プログラム申込書を(様式はホームページからダウンロード可能です。)郵送もしくはEメールにてお申し込みください。

※募集は日本外科学会及び日本専門医機構によるスケジュールに沿って行います。詳細は、日程が決まり次第、東北大学病院卒後研修センターのホームページに掲載します。

お申込み・お問合せ

東北大学病院卒後研修センター (総務課臨床研修係)

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1番1号 Tel. 022-717-7765 Fax. 022-717-7143

✉ hos-sotu@grp.tohoku.ac.jp

<http://www.sotuken.hosp.tohoku.ac.jp/>

東北大学病院 卒後

検索

